

野田九条通信

2018年3月 147号

野田・九条の会 事務局
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

戦争体験者は訴える

戦争につながらる改憲はダメです



私は戦争体験者です。

小学三年生の時終戦でした。台湾からの引揚者です。父はのちに総理大臣になる中曽根さんの部下で海軍の総務で働いていました。一九四四年、四

五年頃は戦争も激しくな

り台湾の山奥へ山奥へ逃

げてカエル、ねずみ等を

食べながら終戦を迎えま

した。引揚は貨物船の奥

底に六人家族で畳二畳、

マラリヤ病等で亡くなっ

た人はシーツに包んで海

に捨てます。一〇日くら

いで着いた所は原爆で焼

け野原の広島の子品。

DDTをかけられ四

日間汽車で福島県の実家

につきました。そして戦

後の生活が大変でした。

まず食べるものがないた

め学校どころか「口減ら

し」。兄弟が多いから家を

出ていかなければなりま

せん。いろいろある中で

私は上京し、先生の紹介

で従業員二〇〇〇名もい

る会社へ入りました。毎

朝職場から見たことは、

レッドパーズという二一

人不当解雇の社員を会社

に入れないことでの大騒

ぎでした。その後、六〇

年安保の反対闘争、三池

炭鉱閉山の闘い、基地反

対闘争など次々に平和と

暮らしを守る労働者、国

民の闘いが起こりまし

た。しかし社会が便利に

なり豊かになると忘れら

れてしまうのか、戦争体

験者も少なくなりまた再

び戦前のような体制が起

こり始めています。体験

から言えば、基地ができ

空や海に軍機や軍艦の姿

を見ると懐かしさと背筋

が凍り付く怖さを感じま

す。そして民意が大事に

された時代からだんだん

市民の声は無視されてい

き、誰かが得をする社会

をつくる体制になってい

く気がします。まさに今

がその時とを考えてしま

ます。

国会でも議員の中に戦

争体験者がいなくなった

時戦争は起こる…と戦争

を体験した議員が残した

名言です。アメリカとの

軍事同盟をますます強化

した安倍政権は二〇一五

年、安保法制を強行採決、

二〇一六年七月の参議院

選挙で自公両党で三分の

二以上の議席を確保。い

よいよ「安倍独裁政治」

が本格化することによく

の人が危機感を感じてい

NO!

ます。国会はすごいスピ

ードで危険な法案が…国

民が理解できていないう

ちに進んでいます。過去

の反省の上に国民は一貫

して平和憲法を守り貫い

て七三年間。戦争につな

がる改憲はだめです。ま

ず三〇〇〇万署名を広げ

る、今の憲法の良さを理

解し、改憲案の危うさを

伝え広め、危険な改憲案

を国会に提案させない世

論を盛り上げましょう！

野田・九条の会呼びかけ人

武智 多恵子

① 今月の予定

3月4日(日) 13:30~16:45

DVD上映とディスカッション

「放射能とトモダチ作戦」ドキュメンタリー-2本上映

② 学習会 憲法9条を変え「戦争する自衛隊」にしたいのですか?

南部梅郷公民館 南地域九条の会

3月9日(金) 16:00~17:00

③ 9の日行動 3000万人署名、ボードをもってスタンディング

梅郷駅前 野田・九条の会

3月10日(土) 13:30~16:30

野田・九条の会 例会

櫛のホール4階研修室

3月19日(月) 16:00~17:00

④ 9の日行動 3000万人署名、ボードをもってスタンディング

愛宕駅前広場 野田九条の会

3月22日(木) 14:00~16:00

ちょっと硬派なおしゃべりカフェ

気軽に憲法や社会のことおしゃべりしませんか?

北コミ喫茶室 野田・九条の会

3月24日(土) 13:30~16:30

DVD上映とディスカッション

「戦地に渡った教え子たち〜軍事郵便1000通が伝える戦争・満蒙開拓〜」

中央公民館講座室 子どもの未来を語る会

九条の眼 他国で殺し殺される集団させない

安倍首相は機会あるごとに自衛隊を憲法に書き込んでもいまの自衛隊とは何も変わらないと答弁しています。「現行の九条二項の規定を残した上で、自衛隊の存在を明記することで、自衛隊の任務や権限に変更が生じることはない。」と言い、何も変わらず心配することはありません、安心してくださと言っています。

本当にそうでしょうか。自衛隊は既に最も重要なところが変わっています。首相の言う自衛隊とは他国で殺し殺される集団に自ら変貌させた今の姿を言っているのです。一方大多数の国民は専守防衛を支持し、自衛隊が他国で殺し殺されるような軍事行動をすることを認めていません。ここにごまかしや、はぐらかしがあり、実像をしっかりと国民に伝えようとする真摯さがありません。

自衛隊は二年前に他国で戦闘ができる存在に変わりました。安保関連法が16年3月に施行され、ときの政府の判断で集団的自衛権の行使が可能となっています。世論を無視し地球上どこでも戦える集団と化しました。平たく言えば任務で自衛隊員は他国の人を殺しました殺されることとなります。変貌した任務に現役自衛官の一人は従う義務はないとして裁判に訴え、

今年1月東京高裁はこれを認め地裁へ差戻しました。

改憲に勢いづく自民党内には本音を露わにする議員もいて、その一人の佐藤正久議員は言います。「ホップ、ステップ、ジャンプのホップとして二項を残して自衛隊を書き込む」と。いずれ軍にする考えなのです。

さらに安倍首相は予算委員会で北朝鮮を念頭に「先に攻撃した方が圧倒的に有利なのが現実だ」とし、護衛艦の空母化また先制攻撃を担う巡航ミサイルの増強を進めています。今の自衛隊は政府の命令で他国を攻撃するやもしれない集団と化しており、国民の生存を脅かす非常に危険な状態に突き進もうとしています。



この事態に国民投票で自衛隊を憲法に書き込むことを認めたら専守防衛は否定され、軍事国家にひた走ることになります。国民感覚から突出し、遊離した考えでの改憲は認められません。国民一人ひとりが主権者として決めるのだとの決意を持ちましょう。これからも国際社会に「平和な国日本」を約束していくためにも九条を変えてはならないのです。

銀座で

「自衛隊の皆さん、ありがとう」

1月27日、某テレビ局で「銀座で、『自衛隊の皆さん、ありがとう！』と歌う可愛い少女」の映像が流された。一瞬私は何かのパロディーかと思ったが、日本会議の人が映し出されたことから、今国会で安倍内閣が推し進めている改憲運動の一環だと理解した。若い人の受け狙いか、高齢の私にとってそれは、先の戦争に駆り出された出征兵士を「日の丸」と「万歳」で送り出した町内会の壮行会の再現のようだ。果たして（声を出せない）彼らは喜ぶだろうか？

昨年秋、北朝鮮のミサイル発射でJアラートの警戒音が鳴った時、ある人は戦時中の空襲警報を

想起したと言う。東北のある県では小学生が頭を抱えて机の下に、別の日に横浜市では、一般市民を巻き込んだ避難訓練がテレビ映像で流された。現実離れした滑稽ともいえるこうした官製パフォーマンスに、大多数の国民は果たして踊る（踊らされる）のだろうか？わかっていてもヒフ感覚からくる生理的な恐怖は、健全な理性をマヒさせる。恐怖に対する危機感の度合いで、保守・極右に傾くともいう。私たち高齢者は、戦争体験の記憶や日本国憲法を体感した免疫が多少なりとも出来ている。憲法9条改憲阻止の闘いのソフトターゲットは、学生等の若年層。

榮谷 竹生